

令和6年度 第2回 北区自治協議会 議事概要

日時 令和6年5月23日（木）午後1時30分から

会場 豊栄地区公民館 大講堂

出席者 委員

菊地委員、坪木委員、諏訪委員、小日向委員、飛鳥井委員、
阿部委員、前田委員、恩田委員、清水(博)委員、有田(一)委員、
佐久間委員、佐藤(茂)委員、清水(文)委員、小熊委員、皆川委員、
渡邊委員、竹島委員、石山委員、寺山委員、横山委員、小林委員、伊藤委員、
遠藤委員、川島委員、佐藤(哲)委員

計25人（欠席：佐藤(康)委員、三浦委員、有田(竜)委員、野口委員、日下委員）

事務局〔北区役所関係〕

副区長兼地域総務課長（以下「副区長」）、区民生活課長、健康福祉課長、
産業振興課長、建設課長、消防局北消防署長、農業委員会事務局北区事務所長、
豊栄地区公民館職員1人、地域総務課長補佐2人、地域総務課職員5人、

計15人

傍聴者 2人

1 開会

2 新任委員自己紹介（皆川委員）

3 報告事項

（1）北区区ビジョンまちづくり計画について

前田会長

本日の会議は次第のとおり、次第2の「報告事項」が2件、次第3「その他」です。
次第2「報告事項」に入ります。

（1）北区区ビジョンまちづくり計画について、副区長から説明をお願いいたします。

副区長

北区副区長の江戸です。私から説明させていただきます。

令和5年度から新たに策定しました北区区ビジョンまちづくり計画では、北区が目指す4

つのまちの実現に向け実施計画を2年ごとに策定し、さまざまな事業を展開しております。

今回、令和5年、6年度までの2か年計画のうち、令和5年度の進捗状況を報告させていただきます。報告資料1、北区区ビジョンまちづくり計画第1次実施計画進捗状況をご覧ください。表紙左上の全体の表をご覧ください。全体の事業数は74です。内訳として、評価A、計画を上回る実績があった事業は14事業、評価B、計画どおり実施できた事業が53事業、続いて、評価C、計画を達成できなかった事業が7事業となりました。事業数が全体で74と多く、時間に限りもありますので、いくつかピックアップして説明させていただきます。その後、委員の皆様よりご質問、ご意見等がありましたら、それについて各担当課長からお答えしていく形式で進めさせていただきたいと思っております。

まず、1、「自然の魅力輝くまち」を目指す事業としましては、2ページの7番「福島潟自然文化祭事業」をご覧ください。令和5年度、これまでのろうそく灯からLEDに一部移行し、1週間、雁迎灯を点灯し、9,600人の集客がありました。だいぶ来場者数が戻って来ておりますが、まだコロナ前の数字には届いていませんので、引き続き、残りのLEDへの移行を行いながら、併せて新たな企画等に取り組んでまいります。

同じく2ページの11番「北区情報発信事業」は、新潟医療福祉大学の学生から北区の観光情報などをSNSに情報発信していく取組みで、1週間に1回以上情報発信を行い、大学生の視点での情報発信を行いました。令和6年度も引き続き積極的に取り組んでまいります。

続いて4ページをご覧ください。2「未来へ続く活力あるまち」を目指す事業についてです。21番「農業経営の担い手確保育成支援」ですが、北区では徐々に新規就農者数が増えてきています。引き続き相談支援を行い、積極的に取り組んでまいります。

8ページをご覧ください。「いきいきと心豊かに暮らせるまち」を目指す事業、40番「妊娠・子育てほっとステーション事業」では、妊娠期から切れ目のない子育て支援体制を構築するため、特定妊婦支援検討会の実施や要支援妊婦、要支援児童、要保護児童などへの支援などを行っていますが、令和5年度は支援担当相談員の急な欠員により目標値を下回る結果となりました。今年度は人的な立て直しも図りながら、引き続き切れ目のない子育て支援を目指し取り組んでまいります。

10ページをご覧ください。49番「北区文化会館事業」では、令和5年度はしるきーもやしるきーもマルシェやキテ・ミテ・キタ区などのイベントを文化会館のホワイエを利用して行ったため、年間利用人数が大幅に増える結果となりました。本来のホールなどを利用した事業展開もより積極的に取り組んでまいります。

14ページをご覧ください。「安心安全で住みよいまち」を目指す事業です。全事業で目標を達成することができました。特に69番「交通安全教室の実施」では、幼稚園や高齢者向

けに 62 回実施し、目標以上に啓発活動を行うことができました。

以上、簡単ではございますが、説明は以上となります。

前田会長

ありがとうございました。今の説明についてご質問はありますか。

川島委員

川島です。

農業の P R 方法についてですが、例えば、中央区から福島潟へ来て福島潟を観光して、特産物を買う場所を知る手段はあるのでしょうか。情報発信はしているのでしょうか。

産業振興課長

産業振興の横木から答えさせていただきます。

まず、直売所ですけれども、北区は農産物直売所が多くありまして、そちらでトマト、スイカ、メロン等を販売させていただいておりますし、大きなところでは道の駅で販売をさせてもらっています。ソフトクリーム等もあるかと思いますので、さらなる情報発信に努めていきたいと思っております。

前田会長

ほかに質問やご意見等がございましたら。

皆川委員

三軒屋町に福祉のお風呂があるのですけれども、冬場、年寄りがお風呂に、最近、一人暮らしとかの人がいっぱいいるのですけれども、冬場などはとても一人でお風呂を用意するのは大変なので、公共交通などで阿賀浜荘まで行けるような形にしてもらえれば一番いいなと思っているのですが、いかがでしょうか。

健康福祉課長

健康福祉課の吉田からお答えさせていただきます。

お話のお風呂というのは憩の家のお風呂のことだと思います。確かに数は減ってきている中で、いろいろなところからご利用されているということはこちらとしても把握しております。利用を伸ばしていくということと、交通の便をそこにあわせていくということがなかなか

難しいところではあるのですが、他の部署とも検討しながら、何とか利用を増やしていくというような方向を検討していきたいと思います。

皆川委員

PRなどもお願いします。お年寄りが少しでも、いいなと思える地域づくりが一番いいなと思っているのですが、どんなものでしょうか。よろしくお願いします。

健康福祉課長

そういった周知、PRについても、今、ご意見をいただきましたので、検討していきたいと思います。ありがとうございます。

伊藤委員

伊藤です。2点ございます。

最初は、40番「子育て支援の環境づくり」で、欠員というのが少し引っかかっておりまして、人的なものはカバーされているのかについて、お聞かせください。

44番「区教育ミーティングの開催」ということで、地域とともにある学びの場というところの44番ですが、実際の私たち委員と教育ミーティングというのは何年もされていないという記憶ではあります。コロナ禍は過ぎておりますので、地域における教育課題等もあることから、開催できませんでしょうか。

健康福祉課長

引き続き、健康福祉課の吉田から、40番「妊娠・子育てほっとステーション事業」に関してご説明させていただきます。昨年度、評価をCとつけさせていただいておりますが、子ども家庭総合支援拠点の職員のアウトリーチの数が、それを行う職員が体調を崩し、お休みをいただくなどし、人員に欠員が生じてしまいました。その結果、家庭訪問など、アウトリーチが思うようにいかず、昨年度はCの評価という結果になっております。

今年度は、そういった点を見直しまして、ここに子ども家庭総合支援拠点とあります。そこに加えて、全国がそういった組織を立ち上げて、新潟市でいうと各区役所の中に子ども家庭センターを今年度から設置させていただいておりまして、統括支援員を置くなど、人員が充実しております。アウトリーチについても力を入れていきたいと考えています。

副区長

44 番の区教育ミーティングの関係なのですが、本日、北区教育支援センター長が欠席しておりますので、私から回答します。実績のところに書いてあるように、令和6年2月22日に開催したのですが、また、次につきましても開催する方向で検討していきたいと思っていますので、その方向で準備していきたいと思います。よろしくお願いします。

前田会長

ありがとうございました。伊藤委員、よろしいですか。

伊藤委員

説明の質疑応答と思っていたので、ミーティングというイメージとは少し違ったもので。また情報を聞かせていただきたいと思います。

前田会長

ありがとうございました。その他、何かございますか。

小林委員

小林です。

私が住む岡方地区なのですが、岡方地区の旧岡方消防署のところからカントリーまでの間の道路は朝晩、交通量が多いです。大型車やトレーラーなどもよく通ります。ですが、道路はひび割れて、補修といっても、ひび割れたところだけ埋め合わせみたいな感じです。道路も非常に痛んで、私たちは、そこに田んぼがあったり、畑があったりしますが、朝晩は行かないようにしています。江南区のほうは防風柵もできたりしているのですが、岡方地区のあそこだけ取り残されてしまったという感じがあります。お話を聞かせてください。

建設課長

建設課の阿部から回答いたします。

その道路なのですが、昨年12月、前田さんを筆頭に、地区の皆様が市長に直接要に行かれています。市長は、まず今年は調査をすると回答しており、担当の道路計画課で準備を進めております。中央環状線の工事に入る、入らないについて、道路計画課から回答はまだ得られていないのですが、それまでの間の安全対策というところで、その箇所には入っておりますが、下手に手をつけてしまうと、また後戻りになってしまう可能性がありますので、その調査の結果を今待っているところです。

小林委員

ありがとうございました。

前田会長

あれは、大外環状線と言いませんで、政令市になってからは中央環状道路となっておりま
すけれども、阿賀の川の向こうのほうはどんどん都市計画道路になって、それがこちらのほ
うまで及ばなかったのです。それでなかなか進捗していない状況でございます。

ほかに何かありますでしょうか。

坪木委員

4 番の「海辺の森共創の場形成事業」についてです。海岸保安林の保全活動ですが、私も
参加しているのですが、主には海辺の森キャンプ場周辺の整備をやっているように思ってい
ます。南浜の船だまりよりも西側とか、内陸のほうに入っていきますと、田んぼがあって、
雑木林があって、その奥が住宅地ですが、保全活動をやる範囲をお聞かせください。

産業振興課長

産業振興課から答えさせていただきます。

こちらの4番に載っているもの、目標を立ててやっているものは、年4回の関係企業、そ
れから市民の方に参加いただいて、保全活動をやるといったものになっていまして、海辺の
森周辺が中心になっております。そのほか、市有地のところで保安林がありますので、これ
はNPOに管理委託しているところで、適宜管理はしているのですけれども、いかんせん範
囲が広いものですので、なかなか手が行き届いていないというのも実情です。

ですが、葛塚中学校などからも海辺の森の整備をするという形でお声をいただいて活動し
ていただいております。いろいろな団体から協力をいただきながら、海辺の森のところを保
全していきたいなと思っております。

坪木委員

手をかける範囲というのは海辺の森キャンプ場周辺ということなののでしょうか。

産業振興課長

どの程度までやるというのがあるかと思うのですけれども、いかんせん、下草を刈って、

人が立ち入れるところまではいっておりません。現在は枯れた松を取り除くなど、ニセアカシアを伐倒していくところがメインになっており、適宜拡大しながらやっている状況です。

坪木委員

私が言いたいのは、陽光自治会の海側の雑木林なのですが、数年来、保安林に指定して少し整備していただきたいというお願いを建設課の年度の要望事項に書いたりしてお願いしているのですが、県の振興局まであがったけれどもという報告までもらったのですが、その後音沙汰なしということになっているので、その辺も含めて考えていただきたいということでございます。

産業振興課長

海辺の森ではなくて陽光団地と海辺の森に至るところの雑木のところのお話でしょうか。

坪木委員

そういうことです。先日、海辺の森協議会で地図をもらいましたけれども、範囲が色塗りしてあって、ここも対象なのかなと思ってこういう質問をさせていただいております。

産業振興課長

まず、海辺の森は広い範囲で指定させてもらっておりまして、今、公園になっているところはほぼ市有地ですので、私どもの責任のもとNPO法人で管理しております。その他、団地との間が民間の土地でありまして、民間ですと私どもはできないといった制約がありまして、そういったところが一部手つかずのところがあるというのは承知しております。

坪木委員

所有者が入り組んでいてという話まではよく理解しているのですが、それを整理して、一括して整備してくれるという話があったものですから期待していたのですが、この話をあげたのは5年くらい前で、毎年、私は忘れないように要望は出しているのですが、その辺は少し考えていただきたいということでございます。

前田会長

ほかにございますか。

ないようであれば、次にいきますがよろしいですか。

(2) 部会の会議概要について

次に、「報告事項」(2) 部会の会議概要について、各部会長から順次、地域づくり部会、福祉教育部会、自然文化部会の順番によりしくお願いいたします。

佐久間部会長

地域づくり部会の佐久間です。よろしくお願いします。

地域づくり部会は、4月の第1回目が全員参加というところで皆さんの意見が聞けました。最初に、今年度のスケジュール(案)を事務局よりご説明いただきました。別紙で、横の2枚が配られていると思いますが、このスケジュールで今年度はやっていくことになります。防災カルタを作りますので、その募集要項、企画(案)を事務局より説明していただいたあとに、作品募集や難易度等についてのさまざまな意見が出ました。たくさん意見が出たのですけれども、難易度に関しては読み札は読み仮名を振ることにし、年齢層はしばらく、だれでも遊べるようにすることに意見が一致しまして、今日は募集について議論していく予定です。6月16日号の区だよりに載せる予定ですので、委員の皆様もぜひご応募いただいて、たくさん応募があればよりよいものができるかなと思います。忖度なく選ばせていただきますので、皆さん、ぜひご応募をお願いします。

清水(博)部会長

福祉教育部会の会議内容について報告いたします。地域の担い手不足解消につながる方向性について、佐藤委員より企画案の提案がありました。その内容は、地域とのつながりが薄い人をいかに地域に巻き込んでいくかということでもあります。そのためには、いかに気運を盛り上げていくことができるのかと。興味のある人を対象に講座や講演会などを行ってはどうかという内容でありました。いろいろ検討いたしましたが、その結果、基本的には佐藤委員の企画案を今年度の事業内容といたしまして、具体的ないきさつについては委員からさまざまな意見がありますので、今日、検討し、全会一致で決めたところです。

小日向部会長

自然文化部会です。昨年、いろいろなところを見て回ったことをもとに、福島潟自然文化

祭の一角をお借りして、その中で食のイベント、トークセッションを行い、その後、クイズコーナーで北区の食材のプレゼントをするような企画を計画しました。

6月5日に自然文化祭の第1回の会議があるということも聞いておりますので、その前に、福島潟自然文化祭の委員長をやっておられる葛塚東コミュニティ協議会会長の五十嵐さんにお話させていただき9月22日の福島潟自然文化祭に向けて、具体的に進めていく予定です。

前田会長

ありがとうございました。今の説明でご意見などがございましたら。ないようであれば、今の報告で了承ということにしたいと思いますので、よろしくお願いします。

次に、次第3「その他」についてです。事務局からお願いします。

事務局

事務局の佐藤から一つご案内をさせていただきます。本日、机上に配付させていただきました北区の区づくり事業、新たに新潟医療福祉大学との連携、「『未来のまちづくり』事業」についてご案内です。医療福祉大学の先生や学生からご協力いただいて、大学のいろいろな専門知識といったものを区民の方に提供していただきながら、なお、講座の修了後には交流会を開いて大学や参加者や講座関係者の皆さんとつながりを作っていくといった内容になっております。今回、全部で6講座開講する予定なのですが、6月から4講座募集を開始いたします。先行して講座1の子どもさんと保護者の方に参加いただく①の講座につきましては、すでに募集を開始しております。2番から4番の講座につきましては6月2日から募集開始になります。内容が充実したものになっておりますので、皆様もよろしければご参加ください。よろしくお願いいたします。

前田会長

ありがとうございました。今の点で何かご意見はありますか。

なければ、このとおりということで。

その他、委員の皆さんから何かご発言などがありましたら。

4 その他

菊地委員

松浜コミュニティ協議会の菊地と申します。よろしくお願いいたします。

4 月、5 月は側溝清掃の時期であり、新元島町自治会で実施したわけですが、お年寄りで側溝清掃が難しくなってきた、業者さんに頼んでやってもらった方が何人かいらっしゃったそうなのです。費用が 1 万 3,000 円から 1 万 5,000 円とられたということなのですが、これからそういう方が増えると思います。側溝清掃について区のほうで補助金制度みたいなものはあるのでしょうか。というのは、去年の東区役所での研修会の際に、ある自治会の方から、側溝清掃を業者に頼んでもそんなに高くなかったという報告があったので、もし安くできるような仕組みなどがあれば教えていただきたいです。

建設課長

建設課です。

多分、ないと思われます。ただ、交通量がかなり多いとか、住民の方がやるのに危険なところは市のほうに連絡いただければ、見せていただいて、市の職員がお手伝いするというのも過去にはありましたが、ただ、補助金等はないと思います。

菊地委員

今後何か考える予定みたいなものはありますか。

建設課長

今、課の中ではそういった話は出ていませんが、やはり声は多く聞いております。公園の清掃もそうなのですから。

菊地委員

検討よろしくお願いいたします。

前田会長

私も長戸呂の住民なので、かなり深い側溝が集まるような場所で、深い場所があって、そこにはさすがに住民は入り込むことはできない。そこに土砂がたまっていて、15 センチか 20 センチくらいでしたっけ、たまっている部分については、建設課のほうに申し出た場合は市のほうで対応してくれると、そんな基準みたいなものがありましたよね。

建設課長

基準はないのですが、現場を見させていただいて、難しいということであれば職員がやることもあります。

前田会長

ただ、普通の市道側溝については地域の人からやってもらいたいと。

建設課長

そうですね。

諏訪委員

濁川コミュニティ選出の諏訪と申します。

私も自治会で昨年、四十何万かけて業者に依頼しました。それはなぜかという、今、言われたように、年寄りで側溝もあげられない、そういう方がたくさんいまして、柵の中をバキュームさせたと。1回で四十何万かけたものですから、1年、2年くらい様子を見ようと。今年はしない、来年もしない。それから状況を見て、これからどうするかと試験的にやってみました。結果は、喜んでいるのでしょけれども、金もかかったなというふうに思っています。区のほうで援助してもらえればありがたいと思っています。よろしくお願いします。

前田会長

ありがとうございました。

ほかにご意見とかご質問等がございましたら。

伊藤委員

伊藤です。

今日配付されました北区郷土博物館の企画展について、この博物館でガイドボランティアをしておりますので、ぜひ来ていただいて、見てください。

私自身は4歳のとき新潟地震で液状化を体験した記憶があります。最近の地震を含めて記憶についてお話をするというのが防災教育の中でされていると思いますが、大事なことだなと思っています。ぜひこのチラシをチラシで終わらせず足を運んでいただきたいと思いお話しさせていただきました。よろしくお願いします。

前田会長

伊藤さん、ありがとうございました。その他、ご意見はございますか。

皆川委員

実は、三軒屋町に空き家があるのです。その空き家は10年、20年経っているのですけれども、その中に、道路と接しているものですから、大きな木が道路側に出て、それをどうするのだということで見積を業者にとったら、10万以上かかるということなものですから、町内でそれを負担してまでやるべきなのかということなので、何とかいい方法がないかということで、今、思案しているのですけれども、どんなものでしょうか。

区民生活課長

区民生活課のほうで、空き家の所有者の方にお手紙を出してお願いするということはしております。空き家であっても所有者の方がいらっしゃるはずなので。

建設課長

建設課から補足させていただきます。今の件なのですけれども、建設課のほうでは原則は私有地のものは手を出せないのですけれども、今、言われたように、道路を使う人が危険にさらされるおそれがある場合は、その部分だけを伐採するというのもやっております。相談いただければ、現場を見させていただいて何らかの対応はとりたいと思います。

前田会長

ありがとうございました。

ほかにないようであれば、予定された議題は終わります。議事進行に皆さんからご協力いただき大変ありがとうございました。これにて、事務局に進行をお返しいたします。